

日本被団協がノーベル平和賞を受賞！
非核・平和宣言都市として積極的な取組を

日本共産党西東京市議団 中村 すぐる(なかむら すぐる)

問 日本被団協がノーベル平和賞を受賞した。ノルウェー・ノーベル委員会の声明文では、「核のタブー」が強調され、「核のタブー」の確立に大きく寄与した日本被団協の並外れた努力に言及がされている。西東京市は非核・平和都市宣言をしている。今回の受賞に対する見解は。

答 日本被団協の長年の地道な取組が高く評価され、とても意義深いものと捉えている。本市としても、恒久平和への思いを引き続き政策の柱の一つとしていく。

問 2024年度内の市の平和事業の取組予定は。

答 2025年2月に日本被団協の田中熙巳代表委員を招いての講演会を予定している。

意見 田中代表委員の講演は非常にタイムリーで、貴重な機会となる。例

年にも増した取組を要望する。

田無駅南口にトイレ設置を求める

問 田無駅南口交通広場の整備が進んでいるが、トイレ設置についての市民ニーズは高いと考える。昨年に行われたアンケートでも要望が出ている。検討状況は。

答 交通広場の整備の際は、看板等により周辺施設のトイレを分かりやすく案内できるよう努めたい。



田無駅南口

保谷庁舎敷地活用 子どもからお金を取らないで！全天候型で無料で遊べる居場所に！

日本共産党西東京市議団 大竹 あつ子(おおたけ あつこ)

問 保谷庁舎敷地で検討されている子どもの居場所について、事業者が整備するとしているが利益を上げるために有料にしなければならない。有料では利用できる子とできない子で分断につながる。子どもの遊び場を市が整備するか、利用料を補助するなどできないか伺う。

答 市が有償で貸付けをし、事業者が施設を設計、整備する。利用料の補助は考えていない。

意見 有料では子どもがど真ん中とは名ばかりだ。子どもたちが望む全天候型の無料で誰でもいつでも遊べる子どもの居場所が必要だ。

問 同じ給食調理室で小学校と中学校で2回の異物混入が起きた。中学校では欠けた野菜切り機の刃が見つからないまま提供され、生徒の口に入った。給食の調理時間にも無理が

あるのではない。金属片など2回続いた重大案件なのに報道も遅れた。最終的責任はどこにあると考えているか。

答 ホームページへの掲載準備を行っていたところであった。今後は異物混入対応マニュアルを整備する。最終的責任者は教育委員会だ。

意見 事故を隠さず、安全な給食のために抜本的改善を求める。



議長公務 議長退任に対してのごあいさつ
～2年間ありがとうございました～

この度、議長として与えられた任期を無事に終えることができました。市民に身近な議会を目指し、よりよい施策や計画を市民の皆様にお届けできるような議決機関となるべく取り組んでまいりました。

また、東京都市議会議長会の副会長を務めるという大変、貴重な経験もさせていただきました。

議長職を無事に全うできたのは、市民の皆様、同僚議員の皆様、職員の皆様のご協力のおかげであります。改めまして、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



酒井ごう一郎

市の平和施策と市民まつりの出展物に矛盾。
地下トンネル工事への不安払拭を！

日本共産党西東京市議団 やまき 明美(やまき あけみ)

問 市の平和事業の1つ、子ども若者平和ワークショップの目的は「海外の戦争や紛争に目を向けるため」とのことだが、市民まつりの行政ゾーンに置かれた子ども・若者平和ワークショップブースの向かいに位置していた自衛隊ブースで、自衛隊の出版物でもない、武器を格好よく見せることを目的とするガンミリタリー専門のホビー雑誌を展示していた。市の姿勢として矛盾と思うが、市は全ての展示物をチェックしているのか。

答 行政ゾーンの展示物は出展部署に任せている。市の事務分掌に自衛官の募集に関わることがあるため、市民まつりで自衛隊が募集活動をしている。

意見 子どもも大勢訪れる市民まつりにふさわしくない。雑誌に掲載されている写真を市長に届けるので再考

を願う。

問 石神井川上流地下調節池計画と同じシールド工法によるトンネル掘削で9月26日にまた陥没事故が起きたことで、住民の不安が増大していることをどう考えるか。

答 住民の声を東京都に伝える。

意見 計画の概要と安全性の説明会を都に求めている。



石神井川

議会NEWS 第1回臨時会より
令和7年1月21日開催

第1回臨時会の予算特別委員会に、令和6年度補正予算第10号が付託され、**賛成全員で可決**されました。

価格高騰重点支援給付金 (令和6年度非課税世帯分)

令和6年度補正予算★第10号
増額 7億2,142万8,000円

物価高騰などに直面する低所得者世帯の支援として、令和6年度住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給するとともに、18歳以下の児童を扶養している場合、1人当たり2万円を加算して給付が受けられます。

給付を受けられる人 (対象者など)

本市に住民登録がある世帯(令和6年12月13日時点)で、世帯全員の令和6年度住民税均等割が非課税の世帯。

また、当該世帯で18歳以下の児童を扶養している世帯には加算(こども加算)があります。

申請受付

受付開始 令和7年2月下旬から
受付終了 令和7年5月30日

議会INFO 西東京市議会だよりの変遷



創刊号
平成13年3月発行

西東京市になって初めての議会だより。まだ市章が決まっていなかったため、左上は市の形のイラストになっています。



中間期
平成21年11月発行

年に2回だけ、表紙と裏面をカラーで発行。紙面の内面は、新聞と同じ縦書きがメインでした。



現在
令和6年11月発行

全面をカラーにし、親しみやすく、伝わる議会だよりを目指しています。